

平成28年度

登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

関東ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて11頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題 1 登録基幹技能者に期待されている仕事の内容に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建築施工管理技術者に対して施工方法等の提案・調整
2. 技能者の適切な配置、作業方法、手順等の構成
3. 施工に係る指示・指導
4. 近隣住民に配慮した連絡調整

問題 2 登録左官基幹技能者に必要な資格等の要件に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 小型車両系建設機械
2. 10年以上の実務経験
3. 3年以上の職長経験
4. 1級左官技能士、1・2級（仕上げ）建築施工管理技士、職業訓練指導員（左官職種）、優秀施工者国土交通大臣顕彰者（建設マスター）のいずれかの資格

問題 3 登録基幹技能者に求められる能力に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 十分な経験を有し、熟達した作業能力
2. 技術の進展等に的確に対応した知識
3. 現場をまとめ、体系だった効率的な作業を実施するための管理能力
4. 普段の技能者の家庭生活の改善に助言する能力

問題 4 登録基幹技能者としての倫理・法令の遵守に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 倫理とは、「人倫のみち。実際道德の規範となる 原理。道德。」である。
2. 人倫とは、「人として誤った道へ進むこと。」である。
3. 道德とは、「人のふみ行うべき道。」である。
4. 登録基幹技能者の倫理とは、「人として守り行うべき道であり、行為の善悪、正邪の判断において普遍的な基準となるもの。」である。

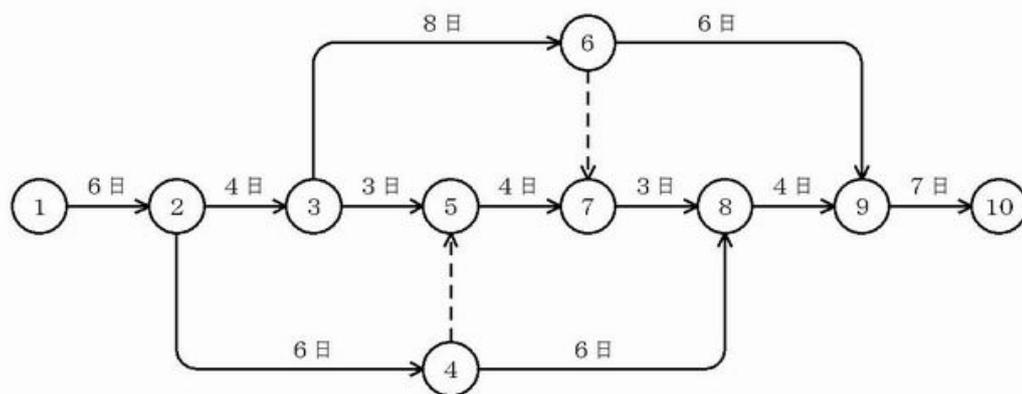
問題5 コンプライアンスに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 「コンプライアンス (compliance)」とは、要求・希望などに沿わなければ厳重に罰することである。
2. 「企業コンプライアンス」とは、企業の法令遵守のことである。
3. 「法令遵守」とは、法令に従って事業または仕事を行うことである。
4. 「企業コンプライアンス」は、法令遵守は基より、社内規則やマニュアル、企業倫理などの遵守、さらには企業のリスク回避のためのルール作成や運用方法のことである。

問題6 登録基幹技能者の初級・中級技能者の指導・教育に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 登録基幹技能者は、初級・中級技能者の指導・教育を行うことも役割となる。
2. 登録基幹技能者は、元請けの代わりに、新規の技能者が現場に入場する時に安全教育を指導しなければならない。
3. 登録基幹技能者は、それぞれの技能者の熟達度を判断して適切な配置、作業方法、作業手順、施工指示、指導を行うことにより、作業を通して初級技能者を中級技能者へ、中級技能者を上級技能者へと育て上げることが重要である。
4. 登録基幹技能者が、建設現場での実際の作業を通して部下の技能者を指導・教育することを、OJT (On the Job Training) 教育という。

問題7 下図の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. 作業⑥→⑨の最遅終了日は、25日である。
2. 作業⑦→⑧の最早開始日は、18日である。
3. 作業⑤→⑦のフリーフロートは、2日である。
4. 作業⑥→⑨のトータルフロートは、1日である。

問題 8 建設副産物に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 原材料としての利用が不可能な廃棄物は、建設副産物である。
2. 原材料としての利用の可能性がある廃棄物または再生資源のうち、アスファルト、コンクリート塊、建設発生木材は、建設副産物である。
3. そのまま原材料となる建設発生土等の再生資源は、建設副産物である。
4. 建設リサイクル法に規定された特定建設資材廃棄物は、建設発生土である。

問題 9 建設業法における「元請負人が、元請負人と下請負人の責任および費用負担を明確にしないままやり直し工事を下請負人に行わせ、その費用を一方的に下請負人に負担させた場合」の内容に関して、最も不適当なものはどれか。

1. やり直し工事を下請負人に依頼する場合は、やり直し工事が下請負人の責めに帰すべき場合を除き、その費用は元請負人が負担することが必要である。
2. 下請負人の責めに帰さないやり直し工事を下請負人に依頼する場合は、契約変更が必要である。
3. 下請負人の一方的な費用負担は、労働基準法に違反するおそれがある。
4. 下請負人の責めに帰すべき理由がある場合とは、下請負人の施工が契約書面に明示された内容と異なる場合または下請負人の施工に瑕疵等がある場合のことである。

問題 10 ブレーンストーミング(BS)に関して、最も不適当なものはどれか。

1. BS は、10～15 人程度の人数の集団で、ある人の意見やアイデアに関して他の人たちが連鎖反応を示し、多彩・豊富・独創的な考え方を引き出す働きがある。
2. BS のルールでは、他人の意見を批判しない、量を出すことが優先されることから、安心して誰もが自由にアイデアを述べることができる。
3. BS のメンバーは、専門家、他分野の専門家、ゼネラリスト等で構成することが望ましい。
4. BS におけるアイデアや意見に関する連鎖反応は、チーム全体の楽しさや競争心を生み出すことにつながっている。

問題 1 1 コンクリート表面の処理方法に関して、最も不適当なものはどれか。

	処理方法	適用目的	概要	留意点
1.	高圧水洗浄	目粗し、脆弱層の除去	高圧水洗いの吐出圧力50～150N/mm ² 、吐出圧と運行速度は、コンクリート強度などによる。	必要な粗さを設定でき、作業者によるばらつきが少なく、施工管理が比較的容易であり、下階への水対策を検討する必要がある。
2.	ブラシ掛け	清掃、脆弱層の除去	デッキブラシあるいは、ワイヤブラシによりコンクリート表面を擦り、塵埃や脆弱層を除去する。	作業は簡単だが、施工管理が曖昧となりやすい。水洗いを併用する。
3.	サンダー掛け	目粗し、脆弱層の除去	ディスクグラインダーによって、コンクリート表面の目粗しを行い、表面に付着した粉塵を水洗いにより除去する。	特別な工具を必要とせず、作業は複雑であり、埃や音の発生がある。施工のばらつきが少ないが、見本などを作製し管理することが重要である。
4.	専用シートによる凹凸処理	コンクリート表面への凹凸付与	ポリエチレンフィルム製専用シートを型枠に取り付け、コンクリート表面に凹凸を付与し、それがセメントモルタルの塗りつけ時に食い込むことにより、はく離を防止する。	専用シートの廃材が発生するため、その処理対策を講じておく必要がある。

問題 1 2 仕上塗材の種類と呼び名の組み合わせで、最も不適当なものはどれか。

	仕上塗材の種類	呼び名
1.	内装セメント系薄付け仕上塗材	内装薄塗材G
2.	内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材	内装薄塗材E
3.	内装消石灰・ドロマイトプラスター系薄付け仕上塗材	内装薄塗材L
4.	内装水溶性樹脂系薄付け仕上塗材	内装薄塗材W

問題 1 3 左官用語の解説に関して、最も不適当なものはどれか。

1. ブリージングとは、コンクリートおよびモルタルの練り混ぜ水の一部が分離して上方に移動する現象のこと。
2. セルフレベリングとは、流しこむだけで平坦になる性質のこと。
3. スラリーとは、ひび割部にセメントペースト等の結合材を注入すること。
4. レイタンスとは、コンクリート表面に形成される不硬性物質の層のこと。

問題 1 4 劣化のメカニズムに関して、最も不適当なものはどれか。

1. コンクリートの下地にセメントモルタルを塗りつけてある左官仕上げの壁は、
2. その境界面では、3. 異なった変形挙動がおきる。これを4. サーマルムーブメントという。

1. コンクリートの下地にセメントモルタルを塗りつけてある左官仕上げの壁
2. その境界面
3. 異なった変形挙動
4. サーマルムーブメント

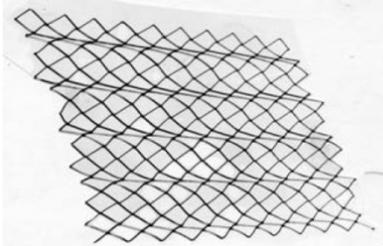
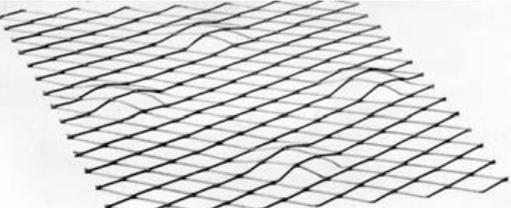
問題 1 5 仕様書等の組み合わせに関して 最も不適当なものはどれか。

1. 左官施工法 2013 は、(一社)日本左官業組合連合会編である。
2. 特記仕様書は標準となる工事の仕様のことである。
3. 建築工事標準仕様書・同解説 JASS 15 (左官工事) は(一社)日本建築学会編である。
4. 公共建築工事標準仕様書は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修である。

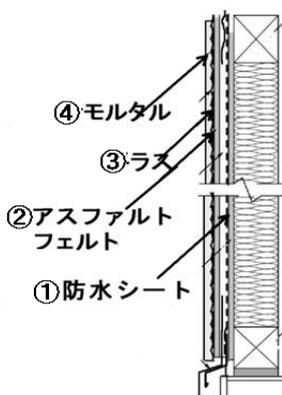
問題 1 6 床の左官工事に関する記述に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 防水モルタルは、防水性のあるセメントモルタル塗りで仕上げることである。
2. せっこう系セルフレベリング材は、せっこうとして強度の強い α 型(アルファ型)を使用したせっこうを使用している。
3. セメント系セルフレベリング材は、鉄部の防錆効果が無い。
4. モルタル防水の施工は、防水工事業の許可が必要である。

問題 17 1 から 4 のラスの名称と図の組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか。

	ラスの名称	図
1.	波形ラス	
2.	防水紙付きリブ系ラス	
3.	こぶラス	
4.	ラスシート	

問題 18 防火基準を満たす二層通気構法の図の仕様で、使用部位・材料の組み合わせでして、最も不適切なものはどれか。



	①	②	③	④
1.	透湿防水シート	アスファルトフェルト430	こぶラス (800g/m ²)以上	現場調合モルタル 塗厚20 ^{mm}
2.	透湿防水シート	改質アスファルトフェルト	波型1号ラス	ラス下地用既調合モルタル塗厚16
3.	透湿防水シート	アスファルトフェルト430	力骨付きラス	ラス下地用既調合モルタル塗厚16 ^{mm}
4.	透湿防水シート	改質アスファルトフェルト	波型1号ラス	現場調合モルタル塗厚16 ^{mm}

問題 19 施工計画に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 施工計画立案にあたり、まず発注者との契約条件、設計図書などを十分に理解するとともに、現場条件などについて調査を行う。
2. 現場の事前調査は、意見の食い違いが出ないように、複数の者が調査に加わったりしないほうが良い結果を得る。
3. 主要工種については、施工法や施工手順など、技術面および経済面から比較検討を行い基本計画を作成する。
4. 基本計画に従って各工種の施工方法および施工順序の検討、施工機械の選定や人員配置、サイクルタイムなどを決定する。

問題 20 建設副産物に関して、最も不適当なものはどれか。

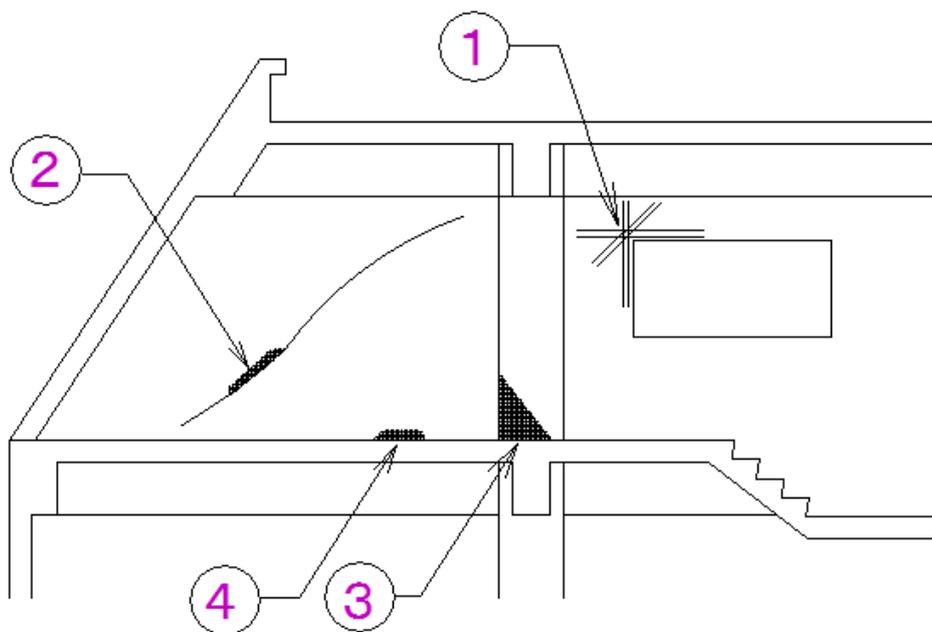
1. 建設副産物対策は事前調査結果を基に、発生の抑制、再利用の促進、適正処分の徹底を基本原則とする。
2. 資材有効利用促進法に規定された指定副産物は、アスファルト、コンクリート塊、建設発生木材、建設発生土（土砂）である。
3. 建設リサイクル法に規定された特定建設資材廃棄物はアスファルト、コンクリート塊、建設発生木材である。
4. 建設副産物とは建設工事に伴い副次的に得られた物品であり、工事現場から排出される再利用の可能性があるものである。

問題 21 建設工事費の構成に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 現場管理費とは、工事の施工に当たり、工事現場を管理運営するために必要な費用。
2. 直接仮設費とは、各工事種目に共通の仮設に要する費用。
3. 建設工事費は工事目的物を作るのに直接要する費用である直接工事費のほかに、それを実現させるためにかかる諸々の間接的経費から構成されている。
4. 一般管理費とは、工事施工に当たる受注者の継続運営に必要な費用。

問題 2 2 下図のようなコンクリートの打設不良が発生した原因に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 図中①の部分では、開口部周りで通常配筋以外に補強筋が取り付けられている場合が多く、鉄筋が密となり、コンクリートの充填不足を起こしやすい。
2. 図中②の部分では、コンクリート打設中の振動不足により、豆板及びコールドジョイントを発生させた。
3. 図中③の部分では、柱上部から打設されたコンクリートは落下高さがあるため、セメントペーストと骨材が分離しやすく、振動、充填不足により豆板を発生させた。
4. 図中④の部分では、急激なコンクリート打設により、型枠内の空気の逃げ場所を無くし、充填不足が生じた。



問題 2 3 わが国建設業における労働災害の現状について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 労働災害とは、労働者が就業中に負傷や死亡する災害であり、疾病は労働災害に該当しない。
2. 労働災害減少の主要因として、労働安全衛生法等の安全関係法規の整備が挙げられる。
3. 死亡災害を事故の型別で見ると、建設工事全体では墜落事故が約 45%と最も多い。
4. 建設業の安全対策が難しい理由の一つは、作業内容が日々変化するため慣れによる安全効果が期待しにくいことが挙げられる。

問題 2 4 法で定められた建設現場における安全管理について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 複数業者が混在する 50 人の建設現場では、安全管理のために元請業者は統括安全衛生責任者を選任する必要がある。
2. 作業主任者を選任しなければならない作業の中に、型枠支保工の解体は含まれない。
3. 元請業者は、現場で新たに就労する作業員に対し新規入場者教育を行う必要がある。
4. 現場では、整理、整頓、清潔、清掃の「4S」に努めなければならない。

問題 2 5 各種労働災害防止について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 高さが 2m 以上の所での作業には、基本的に作業床を設置する。
2. リフォーム工事では、既存建物、植栽、側溝等、足場の支障になるものが多く存在するので事前の現地調査が必要である。
3. 解体工事は短期間で終わるので、石綿による健康障害防止対策を考えなくとも良い。
4. 熱中症予防対策として、WBGT（暑さ指数）を測定することは有効である。